

国内実態調査報告書

テーマ : 社会的企業
ゼミ名 : 井上 義朗ゼミ
調査日 : 2019年9月17日(火)～9月19日(木)
調査先 : オムロン太陽株式会社
授業科目名 : 演習ⅠⅡ・ⅢⅣ
参加学生数 : 15人(3年生)、13人(4年生)

調査の趣旨(目的)

日本初の福祉工場として障がい者雇用を行ったオムロン太陽株式会社から実地での見学などを通して学ぶことで、障がい者に関する課題の解決を目指す社会的企業への理解を深める。

調査結果

今回の調査では、大分県別府市の「オムロン太陽株式会社」を訪問した。現地では、同社に勤める社員の方から企業理念・会社史・活動内容などの説明を受け、実際に工場を見学し、班別に行った事前研究に基づく質問を行った。工場見学では仕事で扱う器具や皆が通る通路、更には電気のスイッチや配管に至るまで、様々な障害を持つ方に対してたくさんの細やかな配慮が見受けられた。引率の方の説明によると、数多くの配慮は従業員一人一人がより働きやすいように意見を出し合った結果から生まれたという。このことから、すべての従業員を分け隔てなく大切にすることの理念を垣間見ることができた。そして事前研究に基づく質問に対しては、一問ずつ丁寧に回答してもらえたため、生じた疑問点の解消と更なる理解に繋がった。

「オムロン太陽株式会社」を訪問し、実際にいろいろな種類の障がい者が働いている姿を目の当たりにすることで、障がいを持つ方と健常者が共に働く在り方や、自分たちの力では不可能だった事柄を可能にするために自分たちで考え抜いて改善しようとする姿勢などを学び取ることができた。この調査の経験を活かし、後期以降のゼミ研究に励んでいきたい。

